

スマホ達人に聞く!【3】

～日本人とスマートフォン～



ニッテル コミュニケーションズ
シドニー本社
高瀬 陽一郎 さん

Q 海外で、日本人が『スマートフォン』をもつ利点は何だと思われますか？

A ここオーストラリアをはじめ、海外において日本語はマイナーな言語のため、これまで携帯電話本体に日本語が組み込まれていないのが一般的でした。Apple社の『iPhone』をはじめとして、初期段階で日本語が組み込まれているものや、Androidなど後から組み込むことができるOSを搭載した『スマートフォン』を利用することで、日本語でのコミュニケーションが可能になったことが利点だと思います。

Q コミュニケーション・ツールとしての『スマートフォン』の特徴は、何だと思われますか？

A 携帯電話はコミュニケーション・ツールであるゆえ、コミュニケーションをとる双方が同じ手段を用いることが理想的だと思います。『スマートフォン』という携帯端末が出てきて、それをコミュニケーション・ツールとして使いたい人は、積極的に相手にも同じツールを持つように勧めるので、その結果、今のスマートフォンのシェア拡大へと繋がっていると察します。従来の携帯電話は、音声通話と文字メールなど直接的コミュニケーションで行われていましたが、現在ではFacebookやTwitterなどのウェブサービスを介した間接的コミュニケーションが広がってきています。『スマートフォン』の特徴は、携帯電話がパソコン化する、つまり“スマートフォン”となることで、その間接的コミュニケーションが実現できるようになったことだと思います。

Q 今後予想されるオーストラリアでの『スマートフォン』の進化の行方をどのようにお考えでしょうか？

A まず、日本でおなじみのICカードによる決済機能は、近い将来、オーストラリアの『スマートフォン』にも必ず取り込まれてくるのではないかと思います。すでに、パースで使われている『SmartRider』をはじめ、ブリスベン、ゴールドコースト、メルボルンでも公共交通にICカードが使われていますし、『Jetstar』などの搭乗券やスーパーのポイントカードなどにも取り入れられるのではないかと思います。また、移民国家のオーストラリアならではの通話を即時翻訳する機能や、バックパッカーに便利な機能としてファーム・ジョブのオファー状況がマップ上に表示され、随時更新されるなど、ガイドブック的要素が取り込まれたものになっていくと個人的には面白いのでは、とも思います。